

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	新型インフルエンザ対策費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	結核感染症課		結核感染症課 正林 督章		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	新型インフルエンザ等対策特別措置法		関係する計画、通知等	・「新型インフルエンザ対策行動計画」(平成23年9月20日:新型インフルエンザ対策閣僚会議) ・「新型インフルエンザ対策ガイドライン」(平成21年2月:新型インフルエンザ及び鳥インフルエンザに関する関係省庁対策会議)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、抗インフルエンザウイルス薬及び个人防护具(PPE)の備蓄を進めている。 また、パンデミック発生に備え、国が備蓄しているプレパンデミックワクチン原液について、特に必要と認められる水際対策の従事者等に、速やかにワクチン接種が行えるようその一部製剤化したワクチンの備蓄対策を講じる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	【医薬品等保管料】 ・国が備蓄している抗インフルエンザウイルス薬及び个人防护具(PPE)、プレパンデミックワクチンの保管に関する経費。 【医薬品買上費】 ・最新の医学的知見、諸外国における抗インフルエンザウイルス薬の備蓄状況を踏まえて、備蓄を進めている。 ・新型インフルエンザ発生時に医療従事者への診療体制の維持を目的に个人防护具(PPE)を備蓄し、対策を講じている。 ・新型インフルエンザ発生に備え、最低限の社会機能を維持するために必要なプレパンデミックワクチンの備蓄を進めている。 【医薬品製剤化等業務庁費】 ・パンデミック発生に備え、国が備蓄しているプレパンデミックワクチン原液について、特に必要と認められる水際対策の従事者等に、速やかにワクチン接種が行えるようその一部製剤化したワクチンの備蓄対策等を講じる。 ・有効期限の切れとなったプレパンデミックワクチンを廃棄するための経費。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	150	97	94	106	6439	
		補正予算		2,929	6,345			
		繰越し等		△ 2,928	5,559	16,950		
		計	150	98	11,998	17,056	6439	
		執行額	100	87	8,149			
	執行率(%)	67%	89%	68%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	・国民の45%分に相当する抗インフルエンザウイルス薬を備蓄する。(タミフル2,120万人分、リレンザ530万人分) ※H25.3.11 に備蓄目標がタミフルは2,680万人→2,120万人、リレンザは268万人→530万人に変更された。		成果実績	万人分	リレンザ1 21年度使用分の補充	タミフル257	タミフル213 リレンザ289	-
			達成度	%	タミフル112% リレンザ112%	タミフル112% リレンザ112%	翌債、 25年度納品	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	・抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」、「リレンザ」を保管 ・个人防护具(PPE)を保管		活動実績 (当初見込み)	万人分	抗インフル薬 3300 PPE12 (抗インフル薬 3300 PPE12)	抗インフル薬 3300 PPE12 (抗インフル薬 3300 PPE12)	抗インフル薬 3300 PPE12 (抗インフル薬 3300 PPE12)	-  (抗インフル薬 3300 PPE12)
単位当たりコスト	タミフル購入 1,641円/人分 リレンザ購入 2,457円/人分 抗インフルエンザウイルス薬保管料 2円/人分/年 个人防护具保管料 173円/人分/年		算出根拠	24年度単価により算出				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医薬品等保管料	94	86	个人防护具の保管経費の減に伴う減				
	医薬品製剤化等業務庁費	12	503	プレパンデミックワクチン原液の製剤化に伴う増				
	医薬品買上費	0	5850	プレパンデミックワクチン原液の購入に伴う増				
	計	106	6439					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	新型インフルエンザ対策のために必要な抗インフルエンザウイルス薬等の備蓄について、国民のニーズがあり、国費を投入して行うべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	新型インフルエンザ対策を国家の危機管理に関わる重要な課題と位置づけ、国の関与のもと、適切に実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	新型インフルエンザ対策を国家の危機管理に関わる重要な課題であり、優先度の高い事業である。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	製造企業が限定されている等のため随意契約としている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	価格交渉により執行単価の見直しを行っている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	抗インフルエンザウイルス薬等の備蓄するために真に必要な費目としている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	抗インフル薬における備蓄割合の変更等のため		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	新型インフルエンザ対策行動計画に基づく備蓄目標を達成している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	・抗インフルエンザウイルス薬の備蓄等は新型インフルエンザ等対策に非常に有用であることから、引き続き実施する必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	新型インフルエンザの発生に備え、抗インフルエンザ薬を備蓄するための経費であるが、本事業の必要性や執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	0130	平成23年	0110	平成24年	0086	

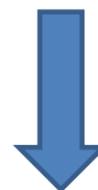
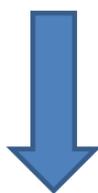
※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
67百万円(当初)

【事業内容】  
・抗インフルエンザウイルス薬  
及び個人防護具(PPE)を備蓄

厚生労働省  
8,082百万円(繰越分)

【事業内容】  
・抗インフルエンザウイルス薬の購入  
・プレパンドミックワクチンの原液購入・製剤化  
・使用期限が切れた抗インフルエンザウイルス薬(タミフル)の廃棄  
・使用期限が切れたプレパンドミックワクチン(製剤化)の廃棄  
・プレパンドミックワクチン原液の購入



【随意契約】  
A. 民間会社(3社)  
67百万円

国が備蓄している抗イン  
フルエンザウイルス薬「タ  
ミフル」及び「リレンザ」、  
並びに個人防護具(PPE)  
を保管

【随意契約】  
B. 中外製薬(株)  
2,436百万円

国が備蓄してい  
る抗インフルエ  
ンザウイルス薬「タ  
ミフル」257万人  
分の買替

【随意契約】  
C. 民間会社  
(3社)  
5,572百万円

プレパンドミッ  
クワクチンの原  
液買上・製剤化

【少額随契】  
D. 民間会社  
(2社)  
72百万円

使用期限が  
切れたプレパ  
ンドミックワク  
チン(製剤化)  
の廃棄

【少額随契】  
E. 民間会社  
(2社)  
2百万円

使用期限が切れ  
た抗インフルエ  
ンザウイルス薬  
(タミフル)の廃  
棄

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万  
円)

費目・用途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と用途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)A社			E.三友プラントサービス(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
医薬品等保管料	抗インフルエンザウイルス薬保管料	30	役務	使用期限が切れた抗インフルエンザウイルス薬(タミフル)の廃棄	2
計		30	計		2
B.中外製薬(株)			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
医薬品買上費	抗インフルエンザウイルス薬(タミフル)の購入費	2,436			
計		2,436	計		0
C.(財)D法人			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
医薬品製剤化	プレパンデミックワクチンの原液買上・製剤化	2,548			
計		2,548	計		0
D.野村興産(株)			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
役務	使用期限が切れたプレパンデミックワクチン(製剤化)の廃棄	62			
計		62	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)A社	抗インフルエンザウイルス薬の保管	30	随意契約	
2	(株)B社	個人防護具(PPE)の保管	21	随意契約	
3	(株)C社	抗インフルエンザウイルス薬の保管	17	随意契約	
4					
5					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中外製薬(株)	抗インフルエンザウイルス薬(タミフル)の購入費	2,436	随意契約	
2					
3					
4					
5					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)D法人	プレパンデミックワクチンの原液買上・製剤化	2,548	随意契約	
2	(財)E法人	プレパンデミックワクチンの原液買上・製剤化	1,671	随意契約	
3	(株)F法人	プレパンデミックワクチンの原液買上・製剤化	1,353	随意契約	
4					
5					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	野村興産(株)	使用期限が切れたプレパンデミックワクチン(製剤化)の廃棄	62	2	49%
2	(株)G法人	使用期限が切れたプレパンデミックワクチン(製剤化)の運搬	10	随意契約	
3					
4					
5					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三友プラントサービス(株)	使用期限が切れた抗インフルエンザウイルス薬(タミフル)の廃棄	2	少額随契	
2					
3					
4					
5					